

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業 事業報告書

1 事業者名

應典院寺町倶楽部

共同事業者名（あれば記入してください）

2 事業のテーマ・タイトル

生老病死のまちづくり～上町台地グリーンサポート・モデルの創造

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
7月	夏のエンディングセミナー「遺族をどう支えるか」において、9月の催しの広報（179名）
8月	詩の学校特別編「それから」開催(8/4)、総合芸術文化祭企画会議(8/5)開始（合計20名規模）
9月	シンポジウム「〈葬式仏教〉再生論!」開催（9/20）（125名）
10月	映画「地球交響曲第1番・第7番」上映と共生をテーマとしたトーク開催（10/10）（67名）
11月	在宅医療等をテーマとしたシンポジウム「地域でつなぐ、いのちの絆」開催（11/23）（49名）
12月	
1月	総合芸術文化祭「コモンズフェスタ 2010/2011～on と off のスイッチ」実施（1/13～21）開催（2150名規模）
2月	「コモンズフェスタ」関連プログラム、イラスト展「ひとつだけ」開催（2/22～3/8）（230名規模）

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	全体を通じた参加者は、およそ2820名であった。数値目標を定めなかったが、人数面では、一定の成果を得た。ただ、数字以上に、複数の催しにリピーターとして参加し、「今までにない感覚」「刺激があり、自分の中で何か変化が起きた」など、本テーマへの好意的な評価が多数得られたことは、本テーマを設定し、事業を展開してきたことへの大きな成果であると認識している。
今後の展望	昨年は「無縁社会」と叫ばれ、さらには葬送儀礼における金銭感覚が激しく問われるなど、〈いのち〉にまつわる世論が高まった。都心居住の魅力が盛んに訴えかけられる上町台地は、他地域に比べて、いかにして死を迎えるかを支えていく仕組みを強固なものとしていかなければならないだろう。故に、多様な場を通じて、人々が自らの死生観を語ることでできる場作づくりに取り組みたい。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。